

# “鮮度一番！”

No.187

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとことコラム
- 1～2 / 運営委員会で話されたこと
- 3 / 「三条活人」たからやフルーツ本店
- 4 / 防災セミナーのお知らせ&打上げ&忘年会申し込み
- 5～6 / 3つのお知らせ
- 6 / 投稿募集のご案内 編集後記

・・・ひとことコラム・・・ その本気度は

H. Y

安倍政権は“女性が輝く社会”を目指すとしています。2020年までに「指導的地位」に立つ女性の割合・30%を目標にすると。今、日本の就業者の40%が女性で、管理職は全体の10%です。本当にできるのでしょうか。それも経済成長戦略のひとつとか。掛け声はいいとしても、単なる数値目標とならないかと心配です。そして、「女性活躍相」はどのような役割なのでしょう。ネーミングに違和感があります。確かに女性閣僚は5人とこれまで最多です。しかし、その人選には疑問符が付きます。女性たちが希求していることが何かを、本当に分かっているか…。

それはさておき、政府が男女共同参画社会を推進しようと音頭取りしてきたにもかかわらず、そのことが進展していない。だからことさら女性の活躍をと言わねばならない。男女問わず、同じチャンスを与えられ、実力で評価されれば、自ずと結果は数字として出ます。男性並みに、いやそれ以上頑張らなければ管理職になれないというのが現実でしょう。政府が保育所を増やすとか、企業に女性の管理職を増やせと要求しても簡単ではない。企業規模、職種などの問題がありますが、数値目標は、企業側も難色を示している。子を産み、子育ても家事も介護もやって、もっと働けと言われては疲弊するばかりです。男性も介護を担う例も増えてきました。男性の育児休業の取得、労働時間の短縮を進めて、社会全体で男女ともに働き方を見直す。仕事と家庭の程よいバランス。家庭で男性も応分の役割を果たすことが求められています。

何よりも女性の社会進出を阻む「隠れた意識」が変わること。これがなかなか根深い。東京都議会のヤジ問題、東京都男女共同参画社会推進議員連盟会長の発言にゲンナリしませんか。まず、気付く人が増えること。身近なところ、家庭、職場、教育の場での意識改革、おかしいと思ったことは声を出す。同じことを言い続けていますね。

## 運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成26年10月1日(水) (AM9:30～11:30)

場 所 男女共同参画センター

嬉しいことに新入会員さんが、運営委員会に出席してくださいました。いつも以上に四方山話に花が咲き、今月号のひとことコラムもドスンと真ん中、直球勝負となりました。

次回11月5日(水)9:30～の運営委員会は、男女共同参画センターが休館のため田辺とも子さん宅です。美味しいお茶を用意していますので、どなたでもおいでください。

## 1.

### 「2014 ワーク・ライフセミナーin 県央」(9/27)参加報告

参加した西方久子さんから報告がありました。

「地域を元気にするネットワークづくり」の言葉に魅かれ、第一部の講演会と第二部の活動発表会(7団体)に参加した。

NPO 法人くびき野 NPO サポートセンター理事 大島誠さんの講演では、高齢者(人口)の推移・日本の経済・社会保障の現状などを、スライドで解りやすく説明、これからのまちづくりはどうしたらいいのか?を話された。納得!!

地元に若者がいない現実から、①行政の限界・企業の限界・地縁社会の限界があり、NPO(市民活動団体)の期待が高まり、地域社会ネットワーク(まちづくり)の組み直しが必要となる。②地域づくりは、自分達でできる事は、自分達で行うという「意識改革」と「組織改革」を同時に行うことが必要である事を強調された。

私達は、地域の市民団体の活動が重要である事や各団体の連携・協働が大切である事は理解できるが、自分達の活動で手一杯であり、資金面で苦勞している現実がある。大島誠さんのように地域づくりのリーダー的役割を担ってくれる人・組織を期待している。

残念だったことは、会場の問題です。会場は暑く、マイク(発言者の声)が聞きづらく、私には辛抱の3時間でした。市民活動団体が気軽に使用できる 100~200 人規模で、聞く人に優しい会場が欲しいですね。

## 2.

### 会報の印刷について

9月号会報の印刷を会員さんのコピー機をお借りして印刷しました。経費等負担をかけないよう気をつけながら、しばらくお借りしていきますが、新しい男女共同参画センターで印刷できるようになったらと希望しています。

## 3.

### 防災研修会、懇親会&ワイ女打上げ&忘年会について

いよいよ来月 11 月 22 日(土)防災研修会、懇親会&ワイワイ女性ひろば打上げ&忘年会です。懇親会会場の「餃子日和わらん」ですが、県央かぐや店から三条店(三条市東裏館 2-1-27 TEL35-2034)へ変更となりました。4ページに申込用紙を載せましたので、どうぞ皆様ご参加ください。

## 4.

### 20周年記念事業について

来年 20 年を迎える当会ですが、記念事業として何をやろうかと話し合いました。チクリと批判精神のある「ザ・ニューズペーパー」の公演は、大変だけれども女性会議らしいのではないかとの意見もでしたが、もう少し練って考えていくこととなりました。

## 5.

### その他

いつも会報を読んでくださっている新潟市在住の R・U さんより、1 万円をご寄付いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

## 三条活人「たからやフルーツ本店」

今回の「三条活人」は東三条商店街の駅近くに位置する果物屋さんです。東三条商店街に店を構え、創業60年余。「果物専門店」として『味・鮮度・つくる人』にこだわり、産地に出向き、「発見・追及」したこだわりの逸品をお客様に提供しています。そこで店主を支える奥様取材しました。



### プロフィール



金子佳奈子さん（白根出身）  
現在、たからやフルーツ本店で  
働く3児の母。  
趣味はサッカー観戦が大好き！



### 子育てと仕事のコツ

・子供は自由に好きなことをさせる

長男はサッカー好きみたいでがサッカーがすごく伸びた時期があった。同時に成績も伸びた。子供は何か上手いくとあれもできる！これもできる！って自分でやろうとするのかなって思います。反対に自分が納得しないことを無理やりさせると反発すると思います。自由に好きなことをさせています。本当にやらなければいけないことは自分で気づくと思ってます。

・子供と遊ぶときはとことん遊ぶ！

2人目の時、遊ぶ時間がとれなくて、仕事へ行くときには泣かれて大変でした。3人目の時は、一緒にいる間はとことん遊ぶようにしたら、仕事に行くとき、「ママ行ってらっしゃい」って見送られて仕事に集中できた。

・仕事に関して

失礼の無い程度に親しく話をするを意識しています。会話が堅苦しいと普通のお店とお客様の関係になってしまうので、友達や先輩の様な関係で親しみやすく接することを心がけております。新商品の開発として女子高生向け、果物の加工品の開発を家で楽しみながら試行錯誤の最中です。

### 取材感想

普段スーパーでは聞いたこともないような品種の果物が陳列されていきました。糖度を調べて表示してある物もあり、品質に対するこだわりを感じました。贈答品だと喜ばれると思います。取材のお礼として、和歌山県産の「ゆらっこ」という品種のみかんを頂きました。甘さと酸味のバランスが絶妙で風味がしばらく口に残っておい



〒955-0047 新潟県三条市東三条1-19-11

たからやフルーツ本店

TEL 0256-32-2554 / FAX 0256-32-2554

防災研修会 懇親会 & “ワイワイ女性ひろば” 打ち上げ & 忘年会

お待たせいたしました。聞こえない防災行政無線から始まった「防災研修会」の申し込みを開始します。競馬場跡地に出来た防災ステーションで、その道のプロ藤井勲さん（防災対策室室長）が、水圧体験等を交えてお話をしてくださいます。「自動応答電話」開設の可能性は、いかに？

研修会終了後、懇親会を“ワイワイ女性ひろば”の打ち上げと忘年会をかねて下記のとおり行います。

今年まだ一度もお会い出来ていない皆様、たまにはお顔を見せてください～♪

## 記

◆日時：11月22日（土曜日）

研修会 午後3時30分～

集合場所：防災ステーション

（三条市上須頃 167 番地 1 三条競馬場跡地）

講師：三条市総務部行政課防災対策室室長 藤井勲様

参加費：無料

防災研修会懇親会&“ワイ女” 打上げ&忘年会

午後6時30分～

会場：餃子日和わらん 三条店

（三条市東裏館 2-1-27 TEL35-2034）

会費：4,000円

申込先：三条女性会議 野崎ミチコ（または、お近くの運営委員へ）

FAX 0256-32-3679

TEL 0256-32-3667（昼）

TEL 0256-32-1764（夜）

E-mail: info@joseikaigi.net

---

11月22日（土）

- ・防災研修会のみ参加
- ・防災研修会と懇親会どちらも参加
- ・懇親会のみ参加

（いずれかに○をお願いします）

氏名\_\_\_\_\_

※このままFAXでお送り下さい。

【3つのお知らせ】

## 女性差別撤廃条約と日本 ～条約の制定・批准・義務～

1985年に日本が批准した女性差別撤廃条約は、男女の完全な平等の達成に貢献することを目的として、女性に対するあらゆる差別を撤廃することを基本理念としています。

私たちの活動の源である女性差別撤廃条約を北京JAC・新潟主催、新潟県女性財団共催の学習会で学んでみませんか？

- ◆日時 : 2014年**10月25日(土)** 13:30~15:30
- ◆会場 : 新潟県女性センター女性団体交流室2  
(新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階)
- ◆内容 : 講演会
- ◆講師 : 山下 泰子さん(法学博士・文京学院大学名誉教授)
- ◆定員 : 50人(申込み先着順)
- ◆参加費 : 無料
- ◆申込方法 : 電話・ファックス・メールにて 小林佳子さんまで  
電話・ファックス 025-245-3063  
E-mail [kei-ko@beige.plala.or.jp](mailto:kei-ko@beige.plala.or.jp)

## 生き心地のよい地域社会をめざして in 県央

日本の自殺者数は一昨年から3万人を割りましたが、新潟県の平成25年の自殺者率は全国ワースト第3位と高い数値のままです。自殺を個人の問題としてとらえるのではなく、社会全体でとらえ、住みやすく暮らしやすい、だれでもが気持ちよく感じ、夢をもって生活できる地域社会をめざすにはどうすればよいのか。清水康之氏の講演と「いのちを守り支え合うまちづくり」をテーマにシンポジウムが開催されます。

- 日時 : 2014年**10月26日(日)** 午後1時~4時(開場12時30分)
  - ◆第1部 講演会 午後1時~2時30分
  - ◆第2部 シンポジウム 午後2時45分~4時
- 会場 : 燕三条地場産業振興センター(リサーチコアマルチメディアホール)  
三条市須頃1-17
- 講師 : 清水康之氏(NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表)
- 参加費 : 無料
- 申込方法 : ①電話 0256-32-6363  
受付時間/午前9時~午後5時(土・日・祝日を除く)  
②FAX 0256-32-6490  
受付時間/24時間OK  
③Eメール [rengousk@fancy.ocn.ne.jp](mailto:rengousk@fancy.ocn.ne.jp)  
受付時間/24時間OK  
件名に「講演会申込」と記載してください
- 問合せ : 生き心地よい地域社会をめざして in 県央実行委員会事務局  
(電話 0256-32-6363)

## 災害と女性 ～あなたの命はあなたが守る～

中越大震災から10年がたちました。あなたの防災意識は風化していませんか？  
防災グッズのチェックをしながらみんなで話し合しましょう。

- ◆日 時：平成**25**年**11**月**15**日（**土**）13：30～15：30
- ◆会 場：長岡震災アーカイブセンターきおくみらい  
長岡大手通り2-6フェニックス大手イースト2階  
TEL0258-39-5525
- ◆問い合わせ：鈴木 0258-33-8227  
樋熊 0258-32-7698
- ◆主催団体：・ウィメンズスタディズ・ネットワーク  
・新潟県中越大震災「女たちの震災復興」を推進する会  
・F&Mながおか市民会議

### ◆会報「鮮度一番！」への投稿を募集しています

「鮮度一番」では、あなたの男女共同参画社会への気づきについての文章を募集しています。一人ひとりが体験した生活での気づきをみんなで共有できたらと願うものです。本名やイニシャルでの掲載、文字数等柔軟に対応致します。

どうぞあなたの声をお寄せ下さい。

《送り先》

- 三条女性会議 E-mail: info@joseikaigi.net
- FAX 0256-32-3679
- 〒955-0044 三条市田島2-12-12



編集後記：

いやあ～泣けちゃいましたね。稲葉さんの胴上げ。それも敵地での胴上げ。感激です。来季はソフトバンクさんも応援しちゃいます。

（私事ですみません）

鮮度一番は今号も盛りだくさん、忘年会の申し込みもあります。どうぞ隅から隅までお読みください。秋の夜長に鮮度一番！（原）

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>